

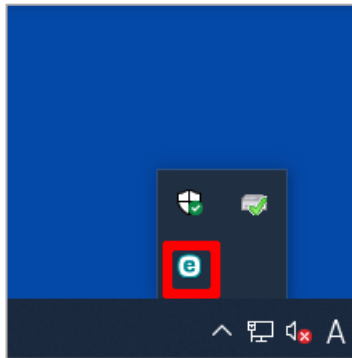
賃貸名人の通信を ESET INTERNET SECURITY

に許可させるための設定手順（SQL Server 2017）

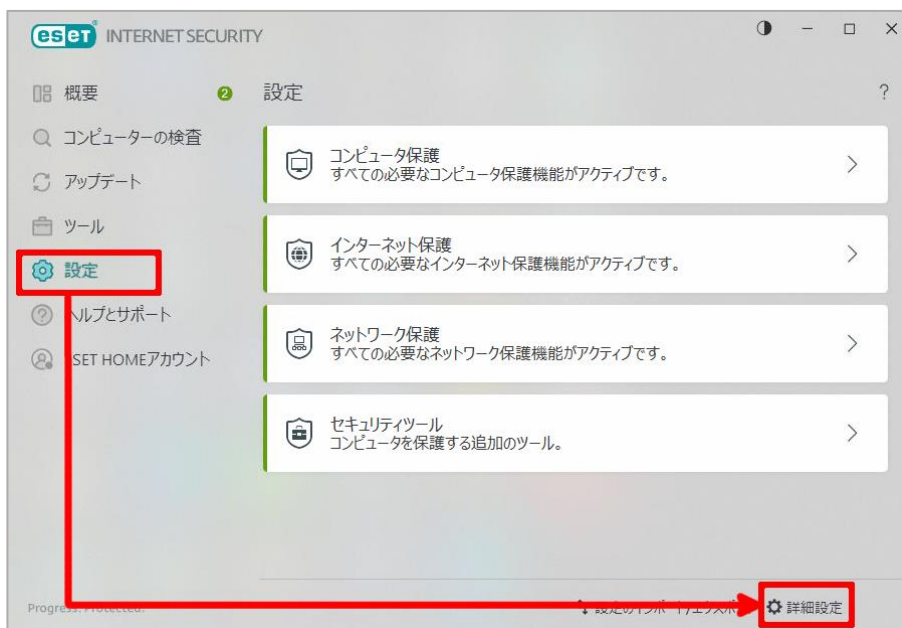
※以下の手順は、ESET INTERNET SECURITY のファイアウォール機能が「有効」に設定されているサーバ(親機)が対象です。クライアント(子機)における設定は不要です。

また、Microsoft SQL Server 2017（対象：2022年2月リリース 賃貸名人 5.6.4 以降の製品）をご利用の場合の設定です。

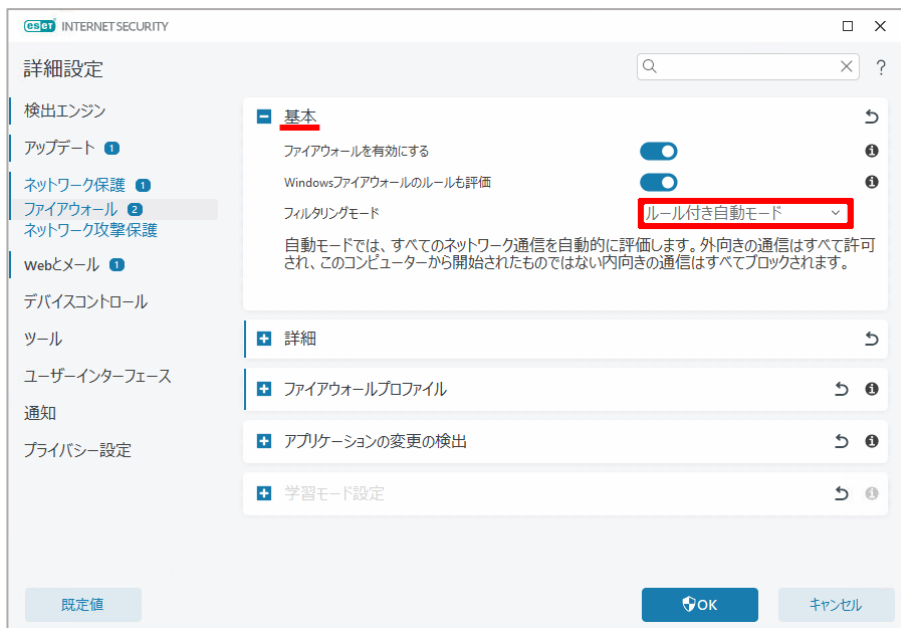
画面右下等の通知領域から ESET INTERNET SECURITY のアイコンをクリックします。



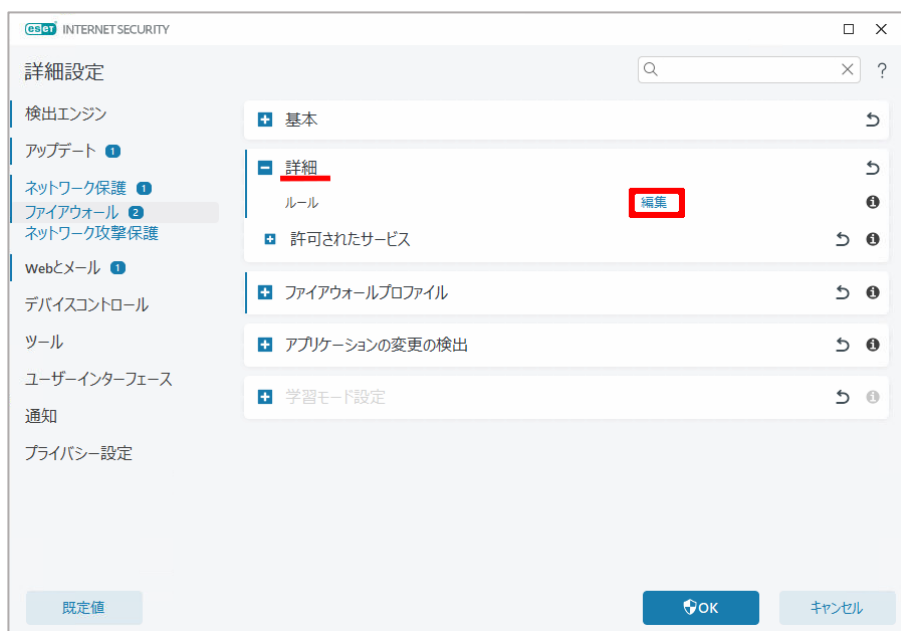
メインメニューの「設定」を選択し、画面右下の「詳細設定」を押します。



[基本] を開き、フィルタリングモードが「ルール付き自動モード」になっていることを確認します。



[詳細] を開き、「編集」を選択します。



[追加] ボタンで、次の2つのファイル「sqlbrowser」「sqlserver」をルールに追加します。



目次

- (1) 「sqlbrowser」を追加する 3
- (2) 「sqlserver」を追加する 5
- (3) 設定を保存する 8

(1) 「sqlbrowser」を追加する

[追加] ボタンをクリックします。



[一般] タブの入力をします。

eset INTERNET SECURITY

ルールの追加

一般 ローカル リモート

一般

名前 SQLBrowser

有効

方向 双方向

アクション 許可

プロトコル TCPおよびUDP

ICMPタイプ/コード

プロファイル 任意のプロファイル

ログ記録の重大度 なし

ユーザーに通知

OK

[名前]:
任意の名前を付けます。
後から画面上での確認をし
易くするため「sqlbrowser」
と入力します。

[方向]:
「双方向」を選択します。

[アクション]:
「許可」を選択します。

[ローカル] タブのアプリケーション欄は、[...] をクリックし、「sqlbrowser」を選択します。

eset INTERNET SECURITY

ルールの追加

一般 ローカル リモート

ローカル

ポート

IP

ゾーン

追加 編集 削除 インポート エクスポート

アプリケーション ...

サービス

OK

標準インストール先は、以下の通りです。

C:\Program Files (x86)\Microsoft SQL Server\90\Shared\sqlbrowser.exe

[OK] ボタンで画面を閉じます。



(2) 「sqlserver」を追加する

[追加] ボタンをクリックします。



[一般] タブの入力をします。

eset INTERNET SECURITY

ルールの追加

一般 ローカル リモート

一般

名前 SQLServer

有効

方向 双方向

アクション 許可

プロトコル TCPおよびUDP

ICMPタイプ/コード

プロファイル 任意のプロファイル

ログ記録の重大度 なし

ユーザーに通知

OK

[名前]:
任意の名前を付けます。
後から画面上での確認をし
易くするため「sqlserver」と
入力します。

[方向]:
「双方向」を選択します。

[アクション]:
「許可」を選択します。

[ローカル] タブのアプリケーション欄は、[...] をクリックし、「sqlserver」を選択します。

eset INTERNET SECURITY

ルールの追加

一般 ローカル リモート

ローカル

ポート

IP

ゾーン

追加 編集 削除 インポート エクスポート

アプリケーション

サービス

OK

標準インストール先は、以下の通りです。

C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL14.DANGONET\MSSQL\Binn\sqlservr.exe

[OK] ボタンで画面を閉じます。

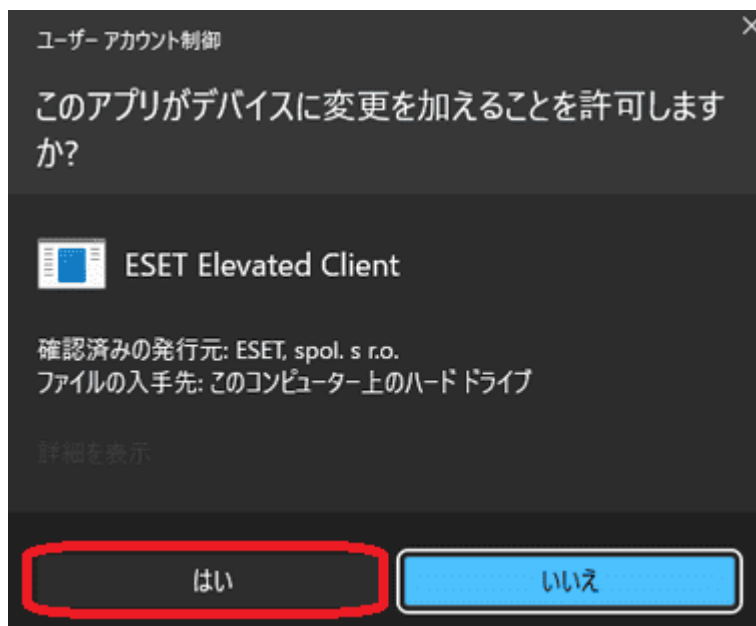


(3) 設定を保存する

ファイアウォールルール画面で、「sqlbrowser」「sqlserver」の追加を確認し、[OK] ボタンを押して画面を閉じます。



次のウィンドウが表示されたら、「はい」を選択します。



以上で設定は終了です。